第４課　社会的関係

【暗唱聖句】

「何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです」第一ペテロ4:8

かつて、ノアが酒によって裸でいたのを見て、ハムはそれを笑い、兄弟たちに告げ口しました。しかし、「セムとヤフェトは着物を取って自分たちの肩に掛け、後ろ向きに歩いて行き、父の裸を覆」ってあげました（創世記9:23）。人の罪を見たとき、それを笑ったり噂話したりするのではなく、優しく愛をもって接し、覆ってあげるようにと聖書は教えます。愛は多くの罪を覆います。イエス様もわたしたちにそうしてくださったのです。

【今週のテーマ】

今週は聖書の教えと反する社会的、政治的な問題に対して、クリスチャンはどのように対応すべきかを学びます。

【日曜日　教会と国家】

「主のために、すべて人間の立てた制度に従いなさい。それが、統治者としての皇帝であろうと、あるいは、悪を行う者を処罰し、善を行う者をほめるために皇帝が派遣した総督であろうと服従しなさい」第一ペテロ2:13，14

クリスチャンたちは神様を信じないものが自分たちの上に立つとき、彼らに従うべきかどうかという問題に対して、聖書は明確に答えています。それは、それがどのような者だろうと可能な限り服従せよということでした。聖書の時代はローマの支配下にあり、腐敗と暴力がはびこり、支配者たちは傲慢かつ冷酷に権力を行使していました。それでも彼らに従うようにとペテロは言いました。

その理由は、彼らはどれだけ傲慢であろうとも、「悪を行う者を処罰し、善を行う者をほめるために」、つまり社会的正義と秩序のために働いているのだから、クリスチャンは善良な市民として社会秩序を乱すようなことをしないようにということです。これは今日の社会と同じことです。

また、このメッセージの最初にペテロは「主のために」と言っています。どういうことかと言いますと、1つ前の言葉に関係しています。

「また、異教徒の間で立派に生活しなさい。そうすれば、彼らはあなたがたを悪人呼ばわりしてはいても、あなたがたの立派な行いをよく見て、訪れの日に神をあがめるようになります」第一ペテロ2:12

わたしたちが社会の中でどのように生きるかということが、神様の証となるのです。だから主のために服従せよと教えられているのです。

【月曜日　主人と奴隷】

「召し使いたち、心からおそれ敬って主人に従いなさい。善良で寛大な主人にだけでなく、無慈悲な主人にもそうしなさい。不当な苦しみを受けることになっても、神がそうお望みだとわきまえて苦痛を耐えるなら、それは御心に適うことなのです」第一ペテロ2:18，19

ペテロは奴隷制度を承認しているわけではありませんが、そのような困難な状況にある人たちに、どのように対処すべきなのかを教えています。それはたとえ無慈悲な主人であったとしても、忠実に仕えなさいということでした。このような手紙を書く背景には、当時のクリスチャンの中に奴隷階級の人たちが大勢いたということを現しています。しかし、彼らは同じ家族として分け隔てなく交わりました。ただ、奴隷である以上、主人には仕えなくてはなりませんでした。その理由は、それが神様の御心だからだとペテロは教えています。そして、さらにこう続けます。

「罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、これこそ神の御心に適うことです。あなたがたが召されたのはこのためです。というのは、キリストもあなたがたのために苦しみを受け、その足跡に続くようにと、模範を残されたからです」第一ペテロ2:20～21

奴隷として仕えることは、まさにキリストが歩まれた道です。キリストはわたしたちにどのように生きるかという模範を示されたのです。それが奴隷のようであれば、わたしたちは同じように、その足跡に続くものとして生きるのです。

しかし本当は、キリストは主の主、王の王でした。同じように私たちはこの世においては奴隷のように仕えるものであったとしても、本当に神の子であり、王の系統に引く際しであることを忘れてはなりません。それが真実であることが、自らを低くし、仕えることによって証されていくのです。

【火曜日　妻と夫】

「同じように、妻たちよ、自分の夫に従いなさい。夫が御言葉を信じない人であっても、妻の無言の行いによって信仰に導かれるようになるためです」第一ペテロ3:1

妻と夫との関係についてもペテロは言及しています。まず妻に対してですが、夫がクリスチャンではない場合どうしたら良いのかについて教えています。それは夫に従うことです。従うというと、妻は夫の言いなりにならなければならないというようなイメージを抱くかもしれませんが、少しにニュアンスが違います。これは月曜日に学んだペテロ2章20，21節の僕のように謙遜に生きることによってキリストを証していくということと相通じるところがあります。

従うと訳された言葉は「自分自身を相手の下に置く」という意味の言葉で、自ら積極的に謙遜になること、相手を立てるための意図的な姿勢です。無理やり従わされるというような夫に従属するというイメージではなく、自らの意志で積極的に謙遜になる姿勢を現しているのです。そして、その目的は、ペテロ2章20，21節と同様にキリストが証され、夫が信仰に導かれるためです。なぜ、夫が信仰に導かれるのか、それは「神を畏れるあなたがたの純真な生活を見るからです」（第一ペテロ3:2）とあります。ではその純真な生活とはどのような生活なのでしょうか。

「あなたがたの装いは、編んだ髪や金の飾り、あるいは派手な衣服といった外面的なものであってはなりません。むしろそれは、柔和でしとやかな気立てという朽ちないもので飾られた、内面的な人柄であるべきです。このような装いこそ、神の御前でまことに価値があるのです。その昔、神に望みを託した聖なる婦人たちも、このように装って自分の夫に従いました」第一ペテロ3:3～5

内面を美しさが純真な生き方の中には表れてきます。それは不信者の夫も認めるところとなります。そして、その内面の美しさは信仰のゆえに生まれてくるものだと理解するようになるということです。またクリスチャンの夫に対しては次のように教えています。

「同じように、夫たちよ、妻を自分よりも弱いものだとわきまえて生活を共にし、命の恵みを共に受け継ぐ者として尊敬しなさい。そうすれば、あなたがたの祈りが妨げられることはありません」第一ペテロ3:7

同じようにというのですから、夫がクリスチャンであれば妻に対して自らを低くしなければなりません。その場合、妻を自分よりも弱いものだとわきまえること、そして永遠の命の恵みを共に受け継ぐ者として尊敬することが大切なこととして教えられています。妻に暴力をふるう男性が増え、その相談件数は年々増えているそうです。いかなる理由があっても、それは正当化することはできません。

【水曜日　社会的関係】

ペテロは第一ペテロ2章から3章にかけて、社会的な様々な状況の中でクリスチャンが生き方について語っています。その結論はいかに困難な状況があろうとも、謙遜であること、上にたてられたものに従うこと、義務に忠実であることを通して、クリスチャンとして良い証をたてることの重要性が解かれています。これらの教えはパウロの考えとも矛盾することはありません。

「人は皆、上に立つ権威に従うべきです。神に由来しない権威はなく、今ある権威はすべて神によって立てられたものだからです」ローマ13:1

「妻たちよ、主に仕えるように、自分の夫に仕えなさい」エフェソ5:22

このように奴隷制度があり、女性の立場が弱く、クリスチャンとしての立場も弱い、そのような社会の中で、その社会のルールに従いながら生きるようにということなのですが、ペテロは「自由な心で生きること」でもあるのだと教えます。

「自由な人として生活しなさい」第一ペテロ2:16

どのような状況にあってもキリスト者は自由であることを忘れてはなりません。この世の社会に縛れているように見えて、実はキリストにあってわたしたちはみなこの世から解放され、永遠の命に生きる、神の民なのです。この世は仮住まいであり、本当に私たちが生きるべき安住の地ではありません。そう思うと、この世の生活に執着する必要性を感じないのです。それゆえ自由なのです。パウロは次のように言いました。

「そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです」ガラテア3:28

【木曜日　キリスト教と社会秩序】

ペテロは社会的な責任と義務を果たし、クリスチャンとして模範を示すようにと語っていますが、もし社会のルールと聖書の教えが違うときはどうしたら良いのでしょうか。つまり人間に従うか、神様に従うかという選択が迫られた場合にどうしたら良いでしょうか。実際にペテロがとった行動を見てみましょう。

「『あの名によって教えてはならないと、厳しく命じておいたではないか。それなのに、お前たちはエルサレム中に自分の教えを広め、あの男の血を流した責任を我々に負わせようとしている』ペトロとほかの使徒たちは答えた。『人間に従うよりも、神に従わなくてはなりません』」使徒言行録5:28、29

人間に従うか、神様に従うかという選択が迫られた場合、ペテロは『人間に従うよりも、神に従わなくてはなりません』とはっきり言いました。忠実な市民としての模範をクリスチャンを示していきますが、神様の教えに逆らうような出来事が生じた場合は、神様の教えを優先します。その結果、立場が悪くなろうとも、神様の祝福は豊かに注がれので、心配する必要はありません。